

第3回定例会（会期9月2日～10月6日）スタート

市民のくらしより「政令市移行、再開発」優先

第3回定例会には、41億628万7千円の一般・特別会計補正予算が提案されました。予算の中身は、下記表の通り合併・政令市移行・熊本城周辺事業が39億6千万円と96%を占め、くらし・福祉・教育の予算は、ほんのわずかにすぎません。日本共産党市議団の市民アンケート(1000通)では、国保料・介護保険料の引き下げ、雇用対策などが上位を占め、「ぜいたくはいらないが、安定した生活を送りたい」など市民の皆さんの切実な声が多数寄せられました。9月7日、午前10時からなすまどか議員が一般質問を行い、「市民アンケート」でお寄せいただいた市民の皆さんの願い・要望を届け、くらし応援の市政実現に向けてがんばります。

主な補正予算	事業名	補正予算額 円
合併・政令市移行関連	行政情報システム改修経費	5億5000万円
	住民記録・印鑑登録システム開発Ⅱ	4億（債務負担行為）
	区役所整備（西部・東部拡張など）、4市民センター拡充調査設計Ⅱ	1億5960万円
	土木センター整備（東部・西部土木センター増設調査設計Ⅱ	2500万円
	城南・植木地域整備基金積立金（2町の基金を引き継ぎ、2町の都市基盤整備などの財源に当てられます）	27億1243万9千円 城南町15億9618万6千円 植木町11億1625万3千円
熊本城・桜の馬場城彩苑の周辺整備関連	熊本城周遊バス「しろめぐりん」運行ルート拡充（バス購入）	2100万円
	城彩苑～頬当御門間シャトルバス運行委託	430万円 （11年3月～運行）
	熊本城回遊性向上の歩道等整備	9000万円
上記補正予算合計	合併・政令市移行、熊本城関連経費	39億6233万9千円

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか

熊本市手取本町1-1 議会棟3階

NO. 723

2010年9月5日

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/

なすまどか議員が一般質問を行います

9月7日（火）午前10時～傍聴にお出かけ下さい！

「くまもと森都心プラザ」図書館業務等を民営化

熊本市は9月議会に、熊本駅前再開発ビル・くまもと森都心プラザの管理・運営について、住民票交付事業を除いた図書館業務などを一つの指定管理者に任せる条例を提案しました。指定基準では、「住民の平等利用」「十分な専門知識を持つ人材を有する」一方、「管理にかかる経費の縮減」を謳っています。民間では、利潤優先となり、人件費縮減により、スタッフの専門性・継続性が犠牲となり、特に図書館運営にはなじみません。図書館運営は「指定管理者制度」をやめ直営を！！

社団法人日本図書館協会は、「指定管理者制度の適用は適切ではない」立場を表明。理由として「司書集団の専門性の蓄積、所蔵資料のコレクション形成は図書館運営にとって極めて重要であり、一貫した方針の下で継続して実施することにより実現できる」「図書館は事業収益が見込みにくい公共サービスであり、自治体が住民の生涯学習を保障するために、その経費を負担すべき事業であり、図書館は、地方公共団体が設置し、教育委員会により、運営される仕組みが極めて合理的」と述べています。

【控え室から】

なすまどか

早いもので、長女が生まれ4カ月がたちました。最近では、見つめると「ニッ」と笑い、母親が離れると力いっぱい泣き叫び、泣きやんだかと思うと仰向けのまま布団の上をずるずると体を滑らせ遊んでいます。子どもの成長に元気をもらいながら毎日を送っています。あっという間の4ヶ月でしたが、多くの方の力添えのおかげで楽しく子育てができています。のだと実感します。親身にアドバイスをくれる助産師の方。子どもと一緒にリズム体操の場は、親同士のつながりをつくってくれます。保健福祉センターやウエルパルでは、離乳食や歯磨きの仕方など教えてくれました。買物物のたびに声をかけてくれる地域の方々…。本当に感謝をしています。テレビでは、親が育児を放棄し、我が子を殺す悲しい事件が報道されています。児童虐待が大きな社会問題となっているなかで、親を孤立させない仕組みづくりがなによりも大切だと思います。子どもの成長を地域全体が支え、喜べるような熊本市にしていきたい。子どもの姿をみながら、こうした思いを強くしています。



政令市移行 住民の「疑問」と「不安」に、市は応えるべき

低調な説明会、行き届いていない市民への説明

(人)

7月24日から8月4日まで、市内18カ所19回の説明会が開かれました。(参加者は以下のとおり)

全体の参加者は391人、全く参加者がなかった説明会が1カ所、参加も少なく意見の出なかったところが2カ所と、低調な説明会でした。政令市への移行は、すべての市民、熊本市の将来にかかわる重要な課題です。ところが、住民レベルでの説明は不足しています。

市役所	53	秋津市民	0
託麻市民	4	城南支所	29
清水市民	21	北部支所	28
幸田市民	9	植木支所	30
東部市民	8	飽田支所	12
花園市民	15	天明支所	27
龍田市民	26	西部市民	19
南部市民	3	河内支所	5
大江市民	3	市役所	15
富合支所	84	合計	391

説明会では、住民の疑問・不安・要望がたくさん・・・

区割り「5区は決まったのか?」「区割りについて今後変更は?」

- ・市役所・区役所・総合支所・市民センターの「それぞれの機能はどのようになるのか」「政令市になって、不便になる心配がある。」
- ・保健福祉センター「今のセンターを残してほしい」
- ・区バス・・・「赤字にならないのか」「継続できるのか」「料金は?」
- ・期日前投票は「どこの区役所でもできるか」

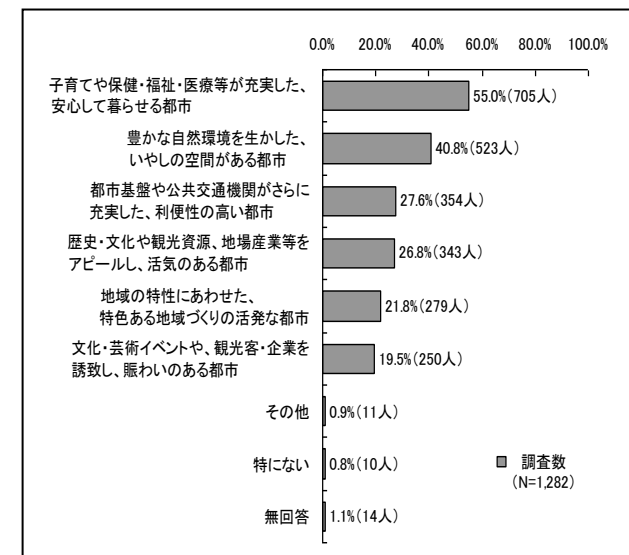
どうしても居住地の区役所でしかできないことも、...

- ・福祉事務所の仕事・・・生活保護決定後の現金支給・相談・変更など
- ・区域内の農業土木、道路の要望
- ・外国人登録の申請
- ・国民健康保険の納付相談
- ・期日前投票(区役所ないし市民センター)
- ・町内会・校区自治協などの地域団体等への補助金申請・交付 など

市民の願いは、「子育て・保健・福祉・医療が充実した安心の暮らし」

市が昨年11月に行なった「政令市ビジョン策定についてのアンケート調査」では、政令市になった場合に期待する都市の姿の第1位が「子育てや保健・福祉・医療等が充実した安心して暮らせる都市」でした。

市民は、政令市への移行に、観光・企業誘致よりも、「住民の安心の暮らし」を求めています。その市民の声にしっかり耳を傾けるべきです。



【区バスの運行の問題点】

- ・区内を縦横無尽に走るわけではありません。予算に応じて、路線・便数などが決まります。
- ・利用料金の負担があります。(さいたま市は、路線バスに準じた料金)
- ・新潟市など、他都市においては利用の少ない路線が廃止になっているところもあります。
- ・市が財政的な負担を負います。(さいたま市は、年間1億6800万円)

政令市ビジョンでは、中心市街地・熊本駅前など、大型開発に重点がおかれています。一方、「日本一暮らしやすい政令市」の「安心の暮らし」の中身は、「区役所設置」「国道の管理」「児童相談所設置」等です。ところが、区役所が不便、保健福祉センターが遠くになり不安というのが市民の実際の声です。

政令市並の一般会計繰入れによる国保料の引き下げ、他都市と比べ遅れている子ども医療費無料化の対象年齢引き上げ、待機児・保留児解消などにこそ力を尽くすべきです。